

競技注意事項

1 受付について

- (1) 各校引率教員は、8時30分までに受付を済ませること。(教員の引率・受付がないとき、選手は競技に出場できない)。

2 競技規則および申し合せ事項について

- (1) 本大会は、2020年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会競技注意事項に基づいて行う。
- (2) 本大会のスタート動作における競技規則については、国内適用で競技を行う。

3 招集について

- (1) 学校受付時に出場選手の健康状態と欠場者を報告すること。これを通常の招集の代替とする。なお、最終コールをトラック種目はスタート地点付近、フィールド種目については各ピットで行う。

4 アスリートビブス(ゼッケン)について

- (1) トラック種目・投擲種目については胸背部に確実につけること。跳躍種目については、背または胸につけるだけでもよい。

5 腰ナンバーカードについて

- (1) トラック種目は腰ナンバーカードを右腰やや後方に数字がよく確認できるように付けること。なお、腰ナンバーカードは主催者が準備したシールタイプのもとし、各校・各選手が事前にレーンを確認の上、前もって黒のマジックでレーン番号を記入(太くはつきりと)しておくこと。競技終了後は各自で処分すること。

6 使用器具について

- (1) 原則として競技場備え付けのものを使用する。ただし、「ポール」と「投擲器具」については各校から持参したものを使用する。ただし、投擲器具については大会本部にて検定を受けること。なお、検定については次のとおりにする。

検定時間	各種目競技開始50分前から40分前まで
検査場所	南側器具庫前

7 競技について

- (1) 全天候型トラックなので、トラック・フィールドともにスパイクのピンの長さは9mm以下のものを使用すること。ただし、走高跳・やり投は12mm以下のものを使用すること。トラック競技において、ゴール後は正面スタンド裏を通行し各校ベンチに帰ること。その際、正面スタンド裏をスパイクで通行することは禁止する。
- (2) 選手及び学校関係者等はスマートフォン、ビデオ等の情報通信機器類を招集所・競技場所に持ち込むことはできない。撮影については13項を参照のこと。
- (3) 競技中のケガ等については応急処置を行うが、その後は各学校で対処すること。
- (4) トラック競技のレーン順およびフィールド競技の試技順については、すべてプログラム記載どおりに行う。
- (5) 800mの9～12人目については、7、8、2、1レーンの順に入る。
- (6) フィールド種目は、すべて計測する。
- (7) 棒高跳については、天候不良の(予想される)場合、競技時間を変更または中止すること。

ともある。

- (8) 3年生走幅跳は1ピットで行う。なお、3年生三段跳・ジュニア三段跳の踏切板は男子10m、女子8mとする。高さの競技におけるバーの上げ方は以下のとおりとする。

<バーの上げ方>

- (男子) 3年生走高跳 ジュニア走高跳 練習 (1m55 1m80)
1m60、1m65、1m70、1m75、
1m80、1m85、1m88・・・・・・(以降3cmずつ)
3年生棒高跳 ジュニア棒高跳 練習 (2m60 3m60 4m00)
2m80、3m00、3m20、3m40、
3m60、3m70・・・・・・(以降10cmずつ)
- (女子) 3年生走高跳 ジュニア走高跳 練習 (1m25 1m45)
1m30、1m35、1m40、1m45、
1m50、1m55、1m58・・・・・・(以降3cmずつ)
3年生棒高跳 ジュニア棒高跳練習 (2m20)
1m80、2m00、2m20、2m30・・(以降10cmずつ)

8 表彰について

- (1) 各3年生種目の優勝者に賞状を授与する。

9 ゴミについて

- (1) 出したゴミについては、各自が責任を持って持ち帰ること。

10 競技場での練習について

- (1) 大会準備に支障のない範囲で可とする。ただし、競技会開始時刻の20分前までとする。また、本大会に参加していない選手の競技場での練習は一切認めない。
- (2) 雨天走路は立入禁止とする。
- (3) 競技場周辺での練習については、一般の方に迷惑になるような行動は慎むこと。

11 応援について

- (1) 応援は正面スタンドおよび土手面で行い、本部席や競技場内には入らないこと。
- (2) メガホン等を使用した集団応援および正面スタンドでの集団応援は禁止する。また、個別の大声を発しての応援も控えること。
- (3) 競技の進行に支障を来すような集団での応援は禁止する。
- (4) 正面スタンド最前列での立っての応援は禁止する。
- (5) 走幅跳・三段跳競技実施時は、コーチゾーンを設置する。同所属選手の試技時のみ使用してよい。
- (6) カラーコーンなどで規制されたエリアには立ち入らないこと。

12 各校のベンチについて

- (1) 正面スタンドにおけるベンチについては、指定された場所に設営すること。各学校で十分にソーシャル・ディスタンスを確保すること。また、荷物については競技終了後、必

ず持ち帰ること。

13 写真・ビデオ撮影について

- (1) 生徒たちの人権保護・肖像権保護のため、競技会における写真・ビデオ撮影について、ご理解とご協力をお願いします。各校に係る団体等が撮影を希望する場合は、必ず本部で許可を得ること。

<観客席からの撮影制限>

- 1 観客席での撮影を禁止させていただくエリアは下記の席です。
 - ◆各種目のスタート後方
 - ◆走高跳、走幅跳・三段跳・棒高跳の助走後方・着地前方
 - ◆走高跳マットに向かった正面（クリアランス動作中）
- 2 保護者および本人の了解がない撮影を禁止します。
- 3 選手がスターティングブロックの足あわせをしたり、試技を待っていたりする間や、体を動かしているなどの準備の行動は撮影を禁止します。
- 4 他者に著しく迷惑をかける行為と主催者で判断した場合は、速やかに警察および関係機関に連絡をとります。